

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：健康増進対策費

事業名 歯科衛生士等人材確保事業費 (地域医療介護総合確保基金)

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療福祉連携推進課 在宅医療福祉係 電話番号：058-272-1111 (内3283)

E-mail: c11230@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,250千円 (前年度予算額: 2,250千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	2,250	0	0	0	0	0	2,250	0	0
要求額	2,250	0	0	0	0	0	2,250	0	0
決定額	2,250	0	0	0	0	0	2,250	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・「岐阜県民歯・口腔の健康づくり条例」において、「歯科衛生士の確保、養成及び資質の向上に関する施策を推進すること」「歯科医療機関等は、歯科衛生士が適切な処遇の下で、その専門知識と技能を向上させ (略) 歯科衛生士の処遇の改善及び資質向上に努めるものとする」ことを規定。
- ・歯科技工士・歯科衛生士は、歯科保健医療の提供において重要な役割を果たすが、現場では強い不足感がある。
- ・歯科診療所は小規模事業所が多く、職場環境・人間関係の問題が慢性化していることが多い。このことから、歯科診療所の管理者や指導者的立場となる人が、処遇や働きやすい環境に関する知識を習得する必要があるため、研修を実施する。
- ・近年、訪問歯科診療を実施している歯科医療機関が増加しており、その中で歯科衛生士は重要な役割を果たしている。訪問歯科診療に取り組む歯科衛生士を確保するため、実践に結び付けられる研修を実施し、即戦力となる歯科衛生士の育成を目指す。

(2) 事業内容

- ①歯科技工士・歯科衛生士復職サポート研修
 - ・研修検討会の開催
 - ・各職種向け研修：基礎知識および基礎技術の研修
- ②歯科衛生士の勤務環境改善研修
 - ・研修検討会の開催
 - ・働きやすい環境づくりに関する研修 (対象：歯科医療機関管理者)
 - ・新人育成に関する研修 (対象：指導者的立場の歯科医師・歯科衛生士)
- ③訪問歯科衛生士人材育成事業
 - ・初心者コース：訪問歯科衛生指導が出来る歯科衛生士の育成
 - ・アドバンスコースの開催：現在訪問歯科診療に従事している歯科衛生士も含め、摂食

嚙下、吸引等訪問に必要な知識習得、多職種連携が出来る人材を育成

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・医療介護総合確保推進法に基づく県計画において、負担率10/10の事業として計上。

(4) 類似事業の有無

- ・無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	2,250	歯科技工士・歯科衛生士復職サポート事業、歯科衛生士の勤務環境改善研修事業、訪問歯科衛生士人材育成事業
合計	2,250	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・第4期 岐阜県歯・口腔の健康づくり計画
「歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士をはじめとする歯科医療等業務従事者、歯科口腔保健の推進に必要な人材の確保・育成を推進します。」
「通院が困難な人や在宅療養者に対して、必要な歯科医療を提供できる体制づくりを推進します。」
「歯科医療等業務従事者やその他保健医療従事者等の資質向上のための研修を充実します。」
「未就業歯科衛生士の現場復帰を支援するため、研修プログラムを充実します。」
「訪問歯科診療を提供する歯科医療機関の増加を図るため、在宅歯科医療に対応できる歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士の養成を図ります。」

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

未就業の歯科技工士・歯科衛生士が少しでも安心して現場復帰できるように知識および技術の習得を目的とした研修や、訪問歯科医療に携わる人材育成を実施する。また、勤務環境改善研修を実施し、歯科衛生士の処遇改善・離職防止に努める。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R4)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R11)	達成率
訪問歯科診療を実施する歯科医療機関数の増加	334施設	334施設	344施設以上	354施設以上	418施設以上	

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科技工士・歯科衛生士復職サポート研修 1回42名 ・歯科衛生士の勤務環境改善研修 1回41名 ・在宅歯科医療同行研修 2回 延べ80名 <p>復職をサポートする研修の実施の他、歯科衛生士の勤務環境改善の研修を実施することにより、復職の支援と離職防止について取組むことが出来た。また、在宅歯科医療に対応出来る人材の育成を行った。</p>
	指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科技工士・歯科衛生士復職サポート研修 1回33名 ・歯科衛生士の勤務環境改善研修 1回31名 ・在宅歯科医療同行研修 1回30名 <p>復職をサポートする研修の実施の他、歯科衛生士の勤務環境改善の研修を実施することにより、復職の支援と離職防止について取組むことが出来た。また、在宅歯科医療に対応出来る人材の育成を行った。</p>
	指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科技工士・歯科衛生士復職サポート研修 1回16名 ・歯科衛生士の勤務環境改善研修 1回34名 ・在宅歯科医療同行研修 1回40名 <p>復職をサポートする研修の実施の他、歯科衛生士の勤務環境改善の研修を実施することにより、復職の支援と離職防止について取組むことが出来た。また、在宅歯科医療に対応出来る人材の育成を行った。</p>
	指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 潜在歯科技工士・歯科衛生士は多く、現場から離れていると技術面での不安が多い。 ・ 歯科医院は小規模で個人経営であるため、医院差はあるものの勤務環境が整っていないことが多く、中にいる人間は気づかないことも多い。 ・ 高齢社会の進展に伴い、訪問歯科医療は需要が高いこれらのことより、本事業の必要性は高い。
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 離職者は技術的不安が大きいため、復職支援研修を実施することは有効 ・ 歯科医院の管理者向け・指導者向け研修をすることが、働きやすい環境を作ることができ、離職防止に繋がる。 ・ 訪問歯科医療に携わる歯科衛生士の育成が、充実した歯科医療の提供に繋がる。
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</small></p>	
(評価) 2	<p>企画運営を適正かつ効果的に実施してきたノウハウをもつ者に委託することで、事業の効率化は図られている。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 研修を終えた歯科技工士・歯科衛生士が復帰し、長く続けられるような支援・環境改善をしていく必要がある。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 今後も、歯科医療を提供していくために、人材の確保・養成および資質向上を図ると共に、処遇改善に努める</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	